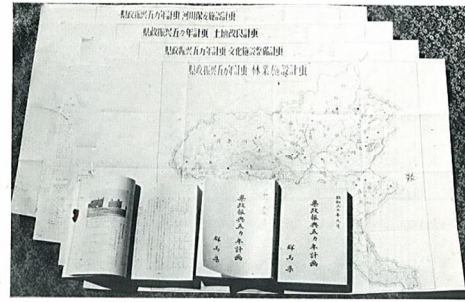


# 生まれ変わる群馬県

## 明るく住みよい群馬を



### 計画のねらい

県政振興五カ年計画は、群馬県の産業生産額を増加して、県民の皆さんの所得をふやし、県民の生活水準を引き上げようとするものである。

そのために、いままでめぐまれていなかった庶民階層の施策に重点をおき、農業、林業、商工鉱業、交通、県土保全施設、土地改良、社会福祉、保健、労働、文化施設、教育施設、移民、生産性向上運動、新生活運動などひろい範囲にわたって計画している。

この計画が実施されたら、生産は増し、経営は合理化され、観光、都市計画、住宅建設等の事業が行われるから商業も活発となり、雇用問題の解決、交通の整備、社会福祉施設、医療施設の完備によって、本当に明るく住みよい群馬が実現されることになろう。

### 計画の実施

この県政振興五カ年計画は、一昨年の昭和二十九年八月に発表、ただちに着手したが、その構想は、従来の県政が、毎年度ごとにその事業が計画され、それに必要な予算を編成していたものを、今後は長期計画として、各年度の予算に計画性をもたせようとしている。

この計画をつくるのには、県民の生活程度、県の地勢、人口、雇用問題、資源、生産構造と生産性、主要物資の需給状況、交通、財政、金融、災害など広い範囲にわたって調査した上で、過去の県政をふりかえり、改善しなくてはならない点などを考えにいれて、いかに群馬県を発展させるかを重点的に定めて計画したものである。

そこでこの計画を実施するためには、たくさんのお金を必要とするが、国や県の経費ばかりでなく、市町村や民間の資金も円滑に調達できるよう施策しなければならず、このためとくに財政と金融計画に重点をおいている。

この計画は、将来の県政振興の姿であり、明るい県民生活の設計でもある。

第一年である昭和三十年では、事業計画の九六・八％が予算化され、すでに仕事すすんでいるが、今後の事業計画の実現には、県民のみなさんにご協力を願い、目標の達成につとめたい。

## 33 高度経済成長期へ向けた群馬県庁の総合計画(昭和31年)

昭和31(1956)年

高度経済成長期の入口にあたる昭和31年に群馬県庁が策定した総合計画『県政振興五か年計画』の概要です。『写真広報 県政のあゆみ』に掲載され、「計画のねらい」では、

- ・産業生産額の増加
- ・県民所得の向上
- ・生活水準の引き上げ

といった目的を掲げた当時の政策方針を伝えていきます。

さらに、重点事業や期待される効果などが書かれています。